

平成30年度福岡県公立古賀竟成館高等学校自己評価表

学校運営計画		評価(3月)			
学校運営方針	志をもって意欲的に学び、自律心と思いやりの心もち、地域社会の有意な人材として活躍できる逞しい生徒を育成する。そのために、校訓「自主・友愛・練磨」の精神を培い、生徒の「志や夢」の実現のために、知・徳・体の調和のとれた教育実践のもと、「生きる力」の育成を目指すとともに、本校と地域の絆を高め、「地域に根ざし地域に愛される学校づくり」を推進する。更に「竟成館五箇条教育」の定着を図り、様々な課題解決を図り、ファーストチョイスされる学校づくりを推進する。				
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標			
<p>○昨年度は、文武両道を一層推進し、学校行事や部活動を充実させた。全員部活動から自主的な入部に変更したが1年生の加入率は76.8%と高かった。ボランティア活動も積極的に行われ地域住民からの信頼も高くなってきた。生徒自身に様々な体験活動を通して自己肯定感や自尊心感情を養うことができてきた。また、アンビシャス活動の表彰を団体受けるなど活動の実績が認められてきた。</p> <p>○教諭全員による担当中学校への訪問・広報活動、中学生の体験入学を行った。地域説明会を地域ごとに分けて7ヶ所で実施し参加者数も168名と昨年度を大きく上回った。平成30年度の入試では志願者数が800名を超えることができた。</p> <p>○次年度は校名変更10周年の節目の年となる。目指す資質能力として「何を理解しているか、何ができるかの取得」「理解していること・できることをどう使うかの育成」「どのように社会世界と関り、より良い人生を送るか」を柱にして。生徒一人一人の「可能性」と「チャンス」の最大化になるように学校の教育活動全般を充実させるとともに普通科・総合ビジネス科それぞれの教育の特色に基づいた指導体制のより一層の推進を図る。また、「率先垂範」、「師弟同行」のもと、竟成館五箇条教育による生徒の人間力向上と学力向上のバランスよい育成を目指す。</p>	人間力の向上 (健全で健康な人間になるために)	<p>「竟成館五箇条教育」の定着を図り、基本的な生活習慣及び「生きる力」が身についた生徒を育成する(生徒指導・保健)</p> <p>道徳教育・人権教育を推進し、規範意識が身についた生徒を育成する(人権・道徳教育)</p> <p>部活動の推進(強化指定部)、ボランティア活動及び地域貢献活動を推進し、社会性を身につけた生徒を育成する(生徒指導)</p>			
	学力向上 (進路希望を実現し、質の高い社会生活を送るために)	<p>キャリア教育を推進し、予習・復習等の自宅学習を充実させ、社会生活に必要な基礎学力と知識を獲得させ生涯学び、活躍できる生徒を育成する(教務・進路指導)</p> <p>学力の定着を図るために、授業改善(主体的・対話的で深い学び)の研究を進めるとともに、習熟度別・少人数授業の活性化に取り組む。教育課程の見直し等を通じて、大学入試制度への対応を進め、生徒の進路先に応じた基礎的な学力を身につけさせる(教務・進路指導)</p>			
	人間力の向上 (健全で健康な人間になるために)	具体的目標	具体的方策	評価(3月)	次年度の主な課題
	<p>校訓の精神を常に自覚させ古賀竟成館の生徒として誇りを持たせる。</p> <p>挨拶の持つ意義を徹底し「いつでも、どこでも、誰とでも、何度でも」という意識を持ち挨拶を励行する。日頃より機会をとりえて感謝の気持ちを持つ大切さや思いやりに関する指導を行う。</p> <p>校内の点検を行い、小規模な破損箇所等の修理営繕を行う。ゴミの分別を行い美化意識を高める。生徒による無言清掃の計画・実施を動機づける。</p> <p>朝読書を通して読解力を向上させ、豊かな想像力と感性を養う。</p> <p>鶴翔祭、体育祭、予餞会の行事に生徒会を中心に積極的に参加させる。学年集会など、生徒を中心とした活動を取り入れ、リーダーシップを発揮させる。</p> <p>健康診断・骨密度と身体測定に加え、スポーツテストの情報やデータから、健康の維持と体力の向上に役立つ情報を提供できるようにする。</p>	<p>「竟成館五箇条教育」の定着を図り、基本的な生活習慣及び「生きる力」が身についた生徒を育成する(生徒指導・保健)</p>	<p>各学期に1回人権教育授業を行う。ともに、人権教育に関する職員研修会を実施する。</p> <p>学校生活アンケートを活用し、生徒の実態を的確に把握しながら安心して過ごすことができるようにする。</p> <p>養護教諭・担任・生徒支援教員・スクールカウンセラーが連携し、生徒の課題把握と解決に向けた情報共有に努める。</p> <p>生徒一人一人の状況に応じて適切な指導及び支援を行い、共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進を行う。</p> <p>生徒支援対策委員会を開き、不登校・中途退学・転学者をなくす方策を講じる。いじめの兆候を把握して迅速に対応を行い「いじめの撲滅」を図る。</p>		
<p>部活動の推進(強化指定部)、ボランティア活動及び地域貢献活動を推進し、社会性を身につけた生徒を育成する(生徒指導)</p>	<p>指定強化部を中心に活発な活動のできる環境整備を行う。</p> <p>全体の部活動加入率79.2%(平成29年度)以上を目標にし、全職員で入部・継続を促す。</p> <p>部活動が活性化するために定期的な担当者会議を行い、平成31年度につなげる。</p> <p>地域社会と連携し、生徒の政治的教養の育成と社会形成参画への意識の高揚を図る。</p> <p>ボランティア活動を推進するとともに、企画運営に生徒自身が取り組めるようにする。</p> <p>部活動生集会を計画し、部活動生の自己肯定感を養う。</p>				
<p>各学年の進路説明会を充実させ、生徒・保護者の必要とする情報を提供する。</p> <p>大学訪問や進路講演会を実施し、生徒の進路意識を向上する。</p> <p>インターンシップ・保育所実習・看護体験等を通して、進路意識の向上を図る。</p> <p>ハローワークと連携を行いし、就職希望者への情報の提供や講演会を実施し多様な社会に対応できる社会人基礎力を身につけさせる。また、校内の指導体制を充実させる。</p> <p>各学年に応じた進路ガイダンスを行うとともに、発達段階に応じた進路意識の育成を図り段階的に人間力を高める。高大連携を通して学問探求を推進し、自ら学ぶことへの興味を図る。</p> <p>三年間を見通した小論文指導計画を立て、生徒自身の論理的思考力・文章構成力を高めさせる。</p> <p>進路行事を通して、さまざまな活動を体験させる事で社会人基礎力を身につけ進路選択の幅を広める。</p>	<p>キャリア教育を推進し、予習・復習等の自宅学習を充実させ、社会生活に必要な基礎学力と知識を獲得させ生涯学び、活躍できる生徒を育成する(教務・進路指導)</p>				
<p>学力の定着を図るために、授業改善(主体的・対話的で深い学び)の研究を進めるとともに、習熟度別・少人数授業の活性化を図るためことができるために取り組む。教育課程の見直し等を通じて、大学入試制度への対応を進め、生徒の進路先に応じた基礎的な学力を身につけさせる(教務・進路指導)</p>	<p>授業参観、授業改善アンケート、教科会議を通して、計画的、組織的な授業力向上を図る。</p> <p>予習、授業、復習の学習サイクルを身に付けさせ、家庭学習の定着を図る。</p> <p>受験指導の三年間を見通した全体計画を構築し、より効果的な受験指導を実施する。</p> <p>模擬試験のデータを分析し、生徒の指導に取り入れる。また、職員研修を行う。</p> <p>ICTを活用した通信教材により、家庭学習の充実を図る。</p>				